



# おいしいね！地元の食材！



津山市食育推進  
キャラクター  
「しよくたん」

みなさんが毎日食べている給食には、いろいろな食材が使われています。津山市では、学校給食にできるだけ多くの津山産、県内産の食材（地場産物）を使用するようにしています。

## どうして地元のものを使うの？

生産者の顔が見えるので、安全・安心だからです。

地元で旬の時期に採れるものは、とても新鮮でおいしく、栄養価も高いからです。

遠い所から運んでくるものに比べ、輸送にかかる燃料などが節約でき、地球にも優しいからです。



## どんなものを使っているの？

津山で育った季節の野菜をできるだけ使います。

いちごゼリー、新高梨など、津山で育った果物がフレッシュフルーツや、ゼリーで登場します。

牛乳は100%岡山県産です！

一年中

ごはん(米)は津山産きぬむすめ、パン・ソフト麺・中華麺には岡山県産の米粉を20%使っています。

## どれくらい使っているの？

平成30年度に使用した学校給食食材9,000品以上のうち、津山産を含む地場産物が占める割合は36.6%でした（そのうち津山産は16.4%）。津山市では、県内産食材40%、そのうち津山産食材18%を目標に、今後も積極的に使用します！

